

会議名 総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会（第24期・第4回）

1. 日時 令和1年7月13日（木）12:00～13:00
2. 場所 日本学術会議6階 6-C（1）会議室
3. 出席者（敬称略・五十音順）：大倉・行場・小山田・下條・田中覚・藤代、欠席者（敬称略・五十音順）：越塚・高橋・明和・萩原

4. 経過

1) 報告事項

① 小委員会報告

立命館大学田中教授より、資料1に基づき、ICT文理融合可視化小委員会について報告があった。

・2019年3月4日に立命館大学衣笠キャンパスで第2回小委員会を開催した。

・立命館大学田中教授、立命館大学鈴木教授、東洋大学加藤教授より文化の可視化に関連した話題提供があった。

慶應義塾大学藤代教授より、資料2に基づき、可視化の新パラダイム策定小委員会について報告があった。

・日本学術会議公開シンポジウム「新しい可視化パラダイム」を企画した。

② マスタープラン2020について

京都大学小山田教授より、資料3に基づき、マスタープラン2020について報告があった。

・大規模装置や設備の整備を検討しても良いのではないかという意見があった。

③ 「学術の動向」2019年4月号特集2について

京都大学小山田教授より、資料4に基づき、「学術の動向」2019年4月号特集2について報告があった。

前回の公開シンポジウムの記録として出版されたことはとても良いことであり、今回の公開シンポジウムについても記録として残すことを検討した方が良いという意見があった。

④ 分科会旅費・手当配分について

京都大学小山田教授より、資料5に基づき、分科会旅費・手当配分について報告があった。

・予定されている会議開催時の必要経費が、配分額を超えている。

・スカイプでの参加は会議出席とみなされる。

・会議をビデオ撮影しておき、欠席者が後ほどそれを視聴し、報告書を提出すれば出席とみなしても良いのではないかという意見があった。

2) 審議事項

① 今後の公開シンポジウム企画について

立命館大学田中教授より、資料6に基づき、今後の公開シンポジウム企画について報告があった。

・12月中旬に、情報処理学会・人文社会とコンピュータシンポジウム（じんもんこん2019）との併設イベントとして、第3回目の公開シンポジウムを開催することが承認された。

・大阪（立命館大学茨城キャンパス）での開催であるので、大阪万博関係者に講演を依頼してはどうかという意見があり、大阪大学八木教授が候補にあがった。

② 今後の分科会の進め方について

京都大学小山田教授より、今後の分科会の進め方について報告があった。

・今後も公開シンポジウムとの併催として進めていくことが承認された。

以上

配布資料

資料1：小委員会報告（田中委員）

資料2：小委員会報告（藤代委員）

資料3：マスタープラン2020 提出版（小山田委員）

資料4：『学術の動向』2019年4月号特集2 企画（小山田委員）

資料5：コスト計算表（小山田委員）

資料6：第3回公開シンポジウム企画